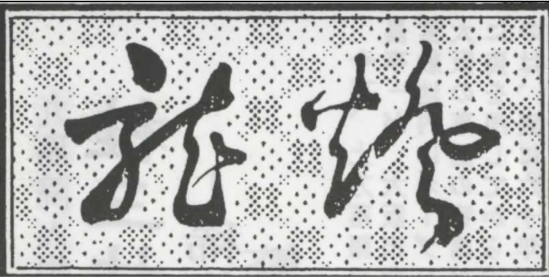


第 76 号



発行所

大阪市史跡
龍溪禅師墓所

霊亀山 九島院

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号

TEL 06 (6583) 2725 FAX 06 (6583) 0908

発行者

第廿五代住職

奥田 啓知 (智證)

当院は、阪神なんば線で、なんばから7分です。

『LED (青色発光ダイオード)』と仏教

怒りをコントロールしよう！

青色発光ダイオード (LED) の開発でノーベル物理学賞を受賞した日本人の一人、中村修二氏は受賞の記者会見で、研究の原動力について「アンガー (怒り) だ。今も時々怒り、それがやる気になっている。」と力を込められました。

青色LED開発後、当時勤めていた日亜化学工業と特許をめぐり訴訟に至った経緯に触れながら、怒りを前向きなエネルギー源に転換してきたと強調しました。

仏教では、怒りは私たちの身心を悩ませ、かき乱し、煩わせまどわせる煩惱の一つとして、貪 (とん：むさぼりの心)・痴 (ち：愚かな心) とともに、怒りを表す瞋 (じん) として、三毒 (煩惱の根本) のひとつに数えています。

私たちは怒ったとき、怒ってはいけない、怒りの気持ちを鎮めなければと思えば思うほど心が乱れます。

怒りの気持ちとその怒りを鎮めようとする気持ちが葛藤して、どうしても不快感が残ります。眠れ

ないとき、眠ろうと眠ろうとすればするほど、かえって眠れないように、怒りという煩惱をなくそうとしてもなくせないのです。

それよりは、むしろ思い切って怒ったほうがいいのです。そしてあとはカラリと忘れてしまうことが大事なのです。

大乘仏教では、怒りなど煩惱は悪い心の働きですが、煩惱がそのまま悟りの縁となると考えて「煩惱即菩提」「不断煩惱即涅槃」(煩惱を断ぜずして涅槃を得る) という言葉ま

であります。人間のさまざまな欲望、不満、怒り、苦悩などが、そのまま悟りの原因になる。煩惱があるがゆえに、それが縁となって悟りに導くと、煩惱にプラスの価値をおいてもいいのです。しかし、怒りの感情に溺れないことが大事なのです。

怒りの感情のコントロールが難しい子供にはどう対処すべきか、日本アンガーマネージメント協会 (東京都港区) の菅野昭子さんは子供に「怒りの日記・温度計」を付けさせ

ることを勧めます。

「怒っては駄目」と言うのではなく、根底にあるその原因に目を向けさせることが必要だといっています。

どんな時に自分が怒るのかを、「怒りの日記・温度計」を付けさせ、怒りを客観的にとらえることで、感情的に怒ることが減ると力説しています。

自身の個人的な事柄に関するいきどおりを「私憤」。社会の悪に対して、自身の利害を越えて感じるいきどおりを「公憤」といいます。中村修二氏の怒りは、個人的なアンガー (怒り) を前向きにプラスにとらえ、日本の研究者に福音をあたえる「公憤」であったのではないかと思います。

しかし、文化勲章の受賞会見で中村氏は「けんかしたまま死にたくない」と日亜化学工業に仲直りを呼びかけました。原動力となった怒りも、感情に流されると修羅道に落ち、いつまでも不快感が残り、今回の発言になったのでは。



九島院人物列伝⑨

平野屋五兵衛

墓檀家 土肥家の先祖

八月晦日、当院の墓檀家の土肥家一統（土肥会と称す）が、墓参のため来院されました。墓檀家とは、菩提寺は違うが墓所が当院にある檀家のことをいいます。土肥家も、真宗大谷派（東本願寺）の九条の勝光寺の檀家で、西九条にあった旧九条村墓地（旧市立北市民病院の地）が廃墓になったので、土肥家一統の墓碑が九島院の境内墓地に移転されたのです。

土肥家の先祖は平野屋五兵衛で、江戸時代中頃の両替商（金融機関）で当時大坂商人をたばねる二大銀行の一つでした。もう一人は天王寺屋五兵衛で、両家は東区今橋一丁目に向かい合 わせに店を構えていました。この地は現在の市立開平小学校の地で、俗に「天五に平五、十兵衛横町」といわれました。

平野屋五兵衛は、嘉永五年の袖監（そでかがみ）によると、源経基の孫頼親四世のあとに八条院判官信光あり、大和国高木村に住し、高木信光と称した。天文年間その十四世の裔孫高木

だるまさん、集めてます。ご不要なだるまさん（置物など）お寺へ譲ってください。

丞之助貞以は美濃国石津郡駒野舟岡山に城を築き、これによつたが、三男孫左衛門俊政は世を厭い、撰津国島下郡福井村（三島郡福井村）に隠棲し帰農、その五世の孫兵衛政親は専ら貨殖につとめ、諸侯に金融をなし慶安三年頃、大坂真島町（今橋一丁目）に両替商を開き、甥を養つて平野屋五兵衛と称させ、これを分家とした。

初代五兵衛道頓は、開店以来郷里の人を多く聘してこれを別家せしめたので、この五兵衛がのち本家となった。

彼は真宗信者として、柏原市にある菩提寺の光徳寺の關係で、東本願寺初代講師の恵空聖人に帰依し多額の布施で法話会を後援し、仲間とともに学寮の経蔵一棟を寄進するなどしたといひます。（東本願寺「ともしび」）

九条の土肥家一統は、初代道頓から五代目の代に、伊兵衛が分家して、九条勝光寺の檀家になり、当地に住み着き分家筋の本家、東と西の三家に分かれ今日

に続いているとのことでした。当院の墓檀家の筒井家一統も、屋号は『天王寺屋』で、当主に聞きますと、具体的な系譜は判然としないが、可能性を否定されませんでした。

当日、以下の漢詩を色紙に墨書して来院の方々に差し上げました。

**臻集兒孫拜墓前
星霜三百歳華遷
土肥屋號一門譽
三伏炎炎盛夏天**

（意味） 兒孫が臻集（集まり）し墓前に拜す。三百年という年月が過ぎ去っていったが、土肥家先祖の屋号の平野屋は一門の誉れである。燃えるような一年で最も暑い盛夏の季節のように。



平野屋五兵衛の墓
天王寺区 西念寺内

境内墓地開放

墓理法の改正に伴い、平成19年に無縁墳墓並びに返還墳墓の改葬により、新規墓地使用者の募集をしましたが、禅宗が原則で当院の檀家となることを条件としておりましたので、未使用の区画が多く残っています。本年春彼岸より、条件を緩和して新規墓地使用者を再募集いたします。

○仏教なら宗旨は問いません。ただ、春彼岸法要と盆施餓鬼法要だけは先祖回向の申し込みをお願いします。

○御実家のお墓が当院境内墓地にあるご親戚にご紹介下さい。

○遠い霊園墓地は、結局は参詣の脚が遠のきます。交通便利な、由緒ある九島院にお墓をもたれることをお勧めします。

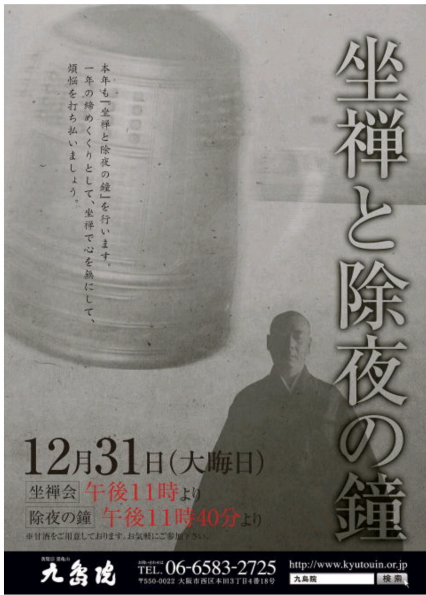
- ◎大区画（4基）
 - ◎中（巻石区画）（10基）
 - ◎中（土台石区画）（14基）
 - ◎小区画（28基）
- 順次契約が進んでいます。

○お墓の立て替え（転改葬）や墓地の拡張などご相談に応じます。

※詳細はお寺までお問い合わせ下さい

坐禅と除夜の鐘

恒例となりました、
『坐禅と除夜の鐘』を行います。
12月31日(大晦日)
坐禅 午後11時
除夜の鐘 午後11時40分



墓地北側隣接の工場が
廃業され解体撤去工事が
完了。
それに伴い、墓地北側
の塀が錆びた鉄筋が剥き
出しとなった危険な状態
である事が発覚。隣接地
に建造物が建たないうち
に早急に修復工事を行
いました。
多少、雰囲気が変わり
ましたので、墓参の折に
でもご確認いただければ
幸いです。

墓地北側コンクリート塀
修復完了



檀信徒の皆さまへ

九条から阪神三宮駅・近鉄奈良駅まで一直線!

行事報告

6/28 はじめての坐禅 (3回目) 参加者13名

8/19 水灯会(お施餓鬼法要) 参加者40名

8/22 地藏盆子ども会 (6回目) 参加者90名

8/23 大亀地藏尊 地藏盆回向 参加者10名

10/11 写経会 (11回目) 参加者4名

11/1 お寺deヨガ (9回目) 参加者17名

行事予定

12/31 坐禅と除夜の鐘

2/11 写経と精進料理の夕べ
(主催:大阪市仏教青年会)

四天王寺客殿を利用したの写経会です。参加費三千元。

平成27年 年忌早見表

年 忌 早 見 表			
年忌	寂年	年忌	寂年
1周年	平成26年	17回忌	平成11年
3回忌	平成25年	25回忌	平成3年
7回忌	平成21年	33回忌	昭和58年
13回忌	平成15年	50回忌	昭和41年

※その他、新たな行事を計画
詳しくは、ホームページもしく
は、Facebookページ
を見てね!

2月頃はじめての坐禅(予定)
3/23 山門会(春のお彼岸法要)

facebook (フェイスブック)ははじめました。ご覧ください。

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

編集後記

▼日本シリーズはソフトバンクの4勝1敗で幕を閉じました。29年ぶりの日本一という夢は、守備妨害の判定でゲームセットとなる「後味の悪い」幕切れでした。

▼クライマックスシリーズで、リーグ優勝の巨人軍に連勝、下克上を制し破竹の勢いだっただけに、日頃は野球を観ていないにわか阪神ファンの小生も手に汗を握ってテレビ観戦でした。

▼大阪だけにお檀家さんのなかにも、熱狂的な方も大勢おられます。『龍吟雲起、虎嘯風

生』の禅語より虎の一字をとり戒名に入れてあげた方もいます。

▼きつと、幽界の地で頭から湯気を出して怒っておられることだと思えます

▼来年は未年です。「未」は、ビまたはミと発音され、「いまだ・・・ず」という否定表現の辞です。

▼来年こそは雪辱を期し、「未だ日本一ならず」にならないように期待したいものです。

▼長女が第一子を出産(予定日十一月二十九日)、次女も結婚(結婚式は来春挙行)しました。親として肩の荷を下ろせた午歳でした。(住職記す)

● 逆 夢 ●

「金が欲しい欲しいと思いながら歩いていると、道に小判が一枚落ちてくる。こらえらい値打ちもんや取ろうとしたら、これが、冬の話で、ガチッと凍りついて取れません。爪がはがれそうになるけど、小判は取れん。叩き割ろうと思っても、石もなければ棒切れもない。そこで考えましたな。温度でこれを溶かそうと、ジャージャー小便をひっかけた。氷を溶かしてつまみあげて、やれうれしやと思つた途端に目が覚めて、小判が夢、小便だけがほんもんやつた。」

桂米朝師匠の『天狗裁き』という上方落語のまくら(前説)の一節です。どなたもご覧になる夢のはなしですが、このまえこんな夢をみました。

饅頭のようなものが一杯詰まった箱を頂きました。そのうちの一つを取り出し、包み紙をめくると、黄金色に輝く固まりでした。嬉しいなあとお躍りした途端に目が覚めました。さっそく翌日、オータムジャンボの宝くじを買い求めたことは、いうまでもありません。

ところが、当院墓地の北隣の工場が廃業し、解体撤去工事が終わり、今まで工場で隠されてた当院の墓地北側のコンクリート塀の外側が日の目に晒されたのです。

錆びた鉄筋がむきだし、塀自体も歪んで危険な状態でした。ほっておくこともできず、隣家が建たないうちに塀を撤去新設しなければならなくなりました。その塀は、明治の頃に建てられたもので、先の戦争の機銃掃射のあとも墓地側には残っていました。昭和60年頃に、檀家の池野工務店が表面をセメントで塗って頂いたので、外見上はそんなに傷んでいるとは思いませんでした。降って湧いたような多額の出費でした。

『詳細夢解き辞典(不二龍彦著)』によると、金を拾ったりする夢は、それだけの出費が必要になる事態が起こることを暗示しているとのことでした。これを逆夢というのでしょうか。



九島院のフェイスブックページを作りました！検索してみてくださいね！

お知らせ

◎のほり奉納の募集◎

1 旗 金 2 千 円

『南無観世音菩薩のほり』を入れ替えます。一年間境内に掲げます。昨年同様、お施主さんを募集いたします。為書きと施主名を墨書します。ご希望の方は、寺務所まで、お声をかけて下さい。

慈光堂(位牌堂)改築

来年の春彼岸までに、龍燈会館二階の慈光堂(位牌堂)を拓げる改築工事に着手します。

永代供養(大亀地藏尊納骨も含め)の申出が増えてきました。平成五年会館建築より永代供養位牌の奉安棚が一杯になり、今後を見据え拡張工事にかかります。工事中はご不便をおかけしますが、ご寛容くださいますようお願いいたします。

▽念願の大阪マラソンに出場。翌週にも淀川市民マラソンに出場と運動の秋を満喫しております。結果は、3時間53分7秒。目標のサブ4を達成しました。(副住職記す)

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。